



西ノ京

学校教育目標 「心豊かでしなやかに 生きる力 を育成する」

京都市立西ノ京中学校
学校だより ③
令和3年(2021)6月16日
校長 藤井 泉

令和3年度「生徒大会」

今年度「生徒会スローガン」

花

～咲かせよう個性あふれる蕾を～



6月3日(木) Zoom を使って生徒大会を開催しました。最初に生徒会目標、実践項目、スローガンの提案があり、各委員長から、各委員会の今年度の活動目標や活動内容が発表されました。



今年度の生徒会スローガンには、「今の段階の生徒たちを『蕾』に例え、ひとり一人の個性がある蕾

が、様々なことを経験していくに連れ、美しい花へと成長していこう」、「その花が咲き終わった後(卒業・進級)に、個性のある蕾がきれいな花を咲かせていく。そういったことの繰り返して、より素晴らしい学校をつくっていこう」という思いが込められています。

続いて、学級討議を経て出された要望について、本部役員の生徒たちが、真剣に話し合いを重ね、誠意をもって丁寧に回答しました。予算のこともあり、全てが要望通りにならないこともありますが、学校としてもできる限り、教育環境の整備に取り組んでいきたいと考えています。

最後に学年代表から「学年目標」の発表がありました。

◆◆◆◆◆避難訓練◆◆◆◆◆

6月14日(月)6限、地震を想定した避難訓練を予定していましたが、天候不良のため、教室で避難行動や避難経路について確認をし、安全学活を行いました。報知音や揺れを察知した段階で、素早く身の安全を確保することが、命を守るうえで重要です。また、必ず誰かと一緒にいる時に地震が発生するとは限りません。身の周りに落ちてくるものや倒れてくるものがないかを瞬時に判断して、安全な場所に身を寄せるといった行動がとれるように日頃から備えることや、家族との連絡方法・避難場所等についても共有しておくことが大切です。

～学年目標～



【1年学年目標】

共力～志を高く持ち

only one な学年へ

きょうりよくを協力ではなく、共力にした理由は、1年生全員の手で共に助け合い、どんな困難も乗り越えていこうという思いが込められているからです。そして、サブタイトルには、小さなことで満足せず、志を高く持ち、自分たちを大きく成長させたい。一人一人の個性を大事にし、一人一人が大切にされる only one な学年を作っていこうという思いが込められています。

【2年学年目標】

脱皮～全員で破る

成長の殻～

1年生と3年生の間の2年生では、大きな変化をする1年間にしたいという思いが、脱皮には込められています。そして、サブタイトルは、74期生や先生を含めた全員が自分達の限界の殻を破って成長していきたいという思いが込められています。



【3年学年目標】

「仁」～仁を実行しよう～

この学級目標の「仁」には、「人として大切なこと」という意味が込められています。

しっかり挨拶をする、時間を守る、丁寧な言葉を使う、身だしなみを整えるなど、人として当たり前のことをおろそかにしないように意識して学校生活を送ろうという思いを込めました。



★定期テスト(6月23日～25日)★

第1回定期テストを6月23日(水)～25日(木)に実施します。日頃の成果が発揮できるよう、計画的に学習に取り組んで欲しいと思います。テスト前には、放課後学習会も実施していますので、有効に活用してください。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「**京**都は**く**く**み**憲章」を**実**践しま**し**よう!



★★6月「道徳教育推進月間」★★

京都市では、6月・10月は道徳教育推進月間に位置付けられています。

教科書を用いた授業では、筆者や登場人物の心情や考え方に、「どうしてそうするのでしょうか?」「自分だったらどうしますか?」と問いかけ、生徒は教材についての道徳的課題や道徳的価値について、自分ごととして考えます。そして、他者と意見を交流し合う中で、自分と違う意見にも耳を傾け、さらに考えを深めていきます。

例えば、3年生で行った「背番号15が歩んだ道—黒田博樹—」の授業では、広島カープでプロとしての歩みをスタートした、黒田博樹さんの信念を貫いた野球人生を通して、自分の生き方に誇りをもち、よりよい生き方を見出そうとする心情を深めました。

生徒たちは、「今ここにいるのは、自分自身の成長だけでなく、周りの人たちがいるからこそだ。」「自分も黒田選手のように、自分のことだけでなく、相手の気持ちも考えられるようになりたい。」「お金よりも人を大切にする生き方を学んだ。」「自分の夢だけを考えるんじゃなくて、自分を応援してくれている人たちの思いも考える。」など、それぞれの思いを綴っていました。

ぜひ、ご家庭でも道徳の授業について、お子様と話してみてください。教室で同年代の子どもたち同士での意見を交流するだけでなく、時には立場の異なる大人の方々の考えを聴くことで、また違った角度から物事を捉えることができるようになります。また、子どもたちの考えを聴いて、私たち大人が気づかされることもたくさんあります。



■■■2年 非行防止教室■■■

6月9日(水)6限、市教委生徒指導課より講師の先生をお招きして、2年生が非行防止教室を実施しました。

中京区の交通事故の4割が自転車による事故であるということを知り、その割合の高さに驚きました。そして、ルールを知って、ルールを守って安全に自転車を利用することの大切さを改めて確認しました。

また、中学生を取り巻く犯罪やSNSの安全な利用につ



いても、実際に起きた事例などを紹介しながら、丁寧にお話いただきました。講演の最後に代表生徒からお礼の言葉を伝えました。

会場を後にされる際に「生徒のみなさんが集中して、しっかり話を聞いてくれて、素晴らしいですね。」とお褒めの言葉もいただきました。

～はるかひまわり絆プロジェクト～

昨年度、学校運営協議会の方々と環境美化委員が「はるかひまわり」を植え、収穫した種を1年間保存していました。

昨年度も学校ホームページで紹介させていただきましたが、「はるかひまわり」というのは、阪神淡路大震災の時に、はるかちゃんという女の子が、木造の建物の下敷きとなり、命を落とされた場所に咲いたことから、その名がつけられました。そして、はるかちゃんと同級生の娘さんを持つ保護者の方が、その花を全国に普及する活動をされたのが始まりです。「はるかひまわり絆プロジェクト」には、この花を育てることを通して、災害の悲惨さや命の尊さについて考えを深め、「人の尊厳」や「人との関りの大切さ」を知ってほしいという思いが込められています。

そのひまわりの種を今年度も、学校運営協議会の方々が昇降口前の花壇に植えてくださいました。また、希望する生徒には家でひまわりを育てられように種を配布しました。

***** ひまわりの花言葉 *****

夏を代表する花であり、太陽に向かってまっすぐに咲くひまわりは、見る人に元気や希望を与えてくれる植物です。

ひまわりの花言葉には、「憧れ」・「あなただけを見つめる」・「崇拜」・「情熱」・「あなたは素晴らしい」・「あなたを幸せにします」などがあります。



♪ 1組演奏会「ハナミズキ」♪

6月2日(水)2限、先生たちの前で、トーンチャイムによる合奏とピアノに合わせた斉唱で「ハナミズキ」の発表をしてくれました。練習では苦戦していましたが、本番では堂々とした素晴らしい演奏を披露し、最後は大きな拍手に包まれました。

演奏後のみなさんのホッとした様子と満面の笑顔が、その成功を物語っていました。次の発表が今から楽しみです。

